

仙台版コミュニティ・スクール

【川前小学校紹介!!】



〈年度当初にもお知らせいたしましたコミュニティ・スクールについて、再度ご紹介いたします♪〉

コミュニティ・スクール(CS)とは

社会の変化が激しい時代では学校・地域・家庭がどんな子供を育てたいかなどの目標・ビジョンを共有し、一体となって子供たちに関わっていくことが重要です。CSとは、「学校運営協議会」を設置した学校のこと、学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組み、特色ある学校づくりを進める新しい仕組みとなります。

本市では、学校評議員会や学校関係者評価委員会など既存の会議等を一本化した合議体「学校運営協議会」として設置し、学校支援地域本部(※)との連携・協働により地域総ぐるみでの教育を実現する仕組みを「仙台版CS」として進めています。 ~仙台市HPより抜粋~



(※) 学校支援地域本部とは?

地域につくられた学校の応援団で、学校支援地域本部が窓口となり、様々な教育活動をサポートする地域の方を学校支援ボランティアとしてつないでいます。CSになることで支援活動が充実し、地域の輪が広がります!



R4 川前小学校キャッチフレーズ 「笑顔あふれる学校をめざして」

学校（教職員）・家庭・地域のそれぞれの立場で実践可能な具体的活動

教職員（学校）	家庭	地域
<ul style="list-style-type: none"> ・明るく元気な挨拶や優しい言葉遣いの具体的な姿を例示し、学校・家庭・地域が一体になった指導を行う。 ・目標に関わる児童の変容について積極的に発信し、成果の共有を図る。 ・児童が互いに認め合う場面を設定し、自己肯定感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の目を見て笑顔で挨拶することを家族で取り組む。 ・大人が率先してふわふわ言葉を使うことを意識して会話する。 ・手伝いを励行し、感謝の気持ちを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会や地域ボランティア、民生委員児童委員の皆さんへ、情報を共有する機会（回覧版、掲示板、HPなど）を設け、目指す児童の姿を共有する。 ・学校行事等へのボランティアに積極的に参加し、学校と地域の関わりを深める。 ・地域においても児童の登下校時には挨拶を交わす。

家庭・地域・学校が一丸となって取り組んでいきましょう!!

◆川前小学校の協働型学校評価の到達目標
「思いやりの気持ちを持って関わり合う子供」

◆重点目標
「明るく元気な挨拶、優しい言葉遣いができた」と回答する割合を、児童・保護者・地域・教職員それぞれ70%以上にする。



《明るく元気な挨拶をする児童とは》
→ 笑顔で相手の目を見て挨拶をする児童

《優しい言葉遣いをする児童とは》
→ ふわふわ言葉（言われて気持ちのよい言葉）で会話ができる児童